

部課名		下水道部下水道経営総務課											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> 市民に安全で衛生的な生活環境を提供するために、下水道事業の進捗管理を行い、効率的で健全な下水道経営を行います。 下水道部内の各課の情報を迅速に取得し、各課との調整を行い、部内の円滑な業務遂行を図ります。 											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
中間確認													
年度末確認													
順位	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	安定した下水道経営 基盤の構築	行政 経営 改革 プラン	下水道事業の経営方針となる「未来につなぐ下水道事業プラン」の振り返り及び必要に応じた見直しを行い、審議会委員に進捗状況を報告します。	審議会開催委員への報告回数 ※新型コロナウイルス感染症の影響に伴い実施方法を変更しました。	2回/年	○	審議会委員に2020年度の決算内容の報告をするための準備をしました。	<ul style="list-style-type: none"> 10月に審議会委員に2020年度の決算内容の報告をします。 3月に審議会委員に2021年度の事業の進捗状況を報告します。 	<ul style="list-style-type: none"> 1月に審議会委員の学識経験者に2020年度の決算内容及び2021年度の事業の進捗状況について計画と実績に大きな乖離がないことを確認し報告しました。3月に関係団体及び市民委員の審議会委員に、同様の内容を報告しました。 審議会委員への報告はそれぞれ1回ですが、目標としていた決算内容及び事業の進捗状況を報告しました。 	1回/年	C	C:目標水準を達成したためです。	2021年度の事業の進捗状況については、経営状況を含めた詳細な分析をした上で、2022年11月に町田市ホームページに公表します。また、引き続き、「未来につなぐ下水道事業プラン」を基に事業の評価、経営分析を進めていきます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
2	下水道事業に関するPRの推進	個別 計画	下水道の仕組み等についてのホームページ上での説明、下水道情報紙の発行等により、下水道事業に関するPRを行います。	市民等への情報発信回数	4回以上/年	○	市民等へ情報発信した回数は、以下の3回です。 ・下水道事業の経営方針となる「未来につなぐ下水道事業プラン」について、「広報まちだ」4月15日号に記事を掲載しました。 ・市庁舎1階みんなの広場で下水道に関するパネル展示をしました(9月6～10日)。 ・9月10日に広報紙である「まちだ下水道通信」を発行しました。	引き続き、HP等を活用し、下水道に関するPRを実施します。	○下水道事業の経営方針となる「未来につなぐ下水道事業プラン」について、「広報まちだ」4月15日号に記事を掲載しました。 ○下水道事業に関するPRを実施しました。 ・市庁舎1階みんなの広場で下水道に関するパネル展示を実施(9月6～10日) ・9月10日に「まちだ下水道通信」を発行 ・2月から市HP等に「マンホールトイレの組立て方と使い方」の動画を掲載 ・3月から市HP等に「水のうの作り方」の動画を掲載	5回/年	B	B:当初の目標を上回る成果が上ったためです。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非対面式のPR方法を検討しながら活動しました。今後も、例年参加していた各イベントの中止や開催方法の変更が想定されます。状況に応じて対面・非対面の判断をしながら、下水道の役割や課題、魅力を多くの市民等に理解してもらえようPRを継続して実施していきます。
3	下水道BCP(下水道事業継続計画)等の災害対応計画に基づく管理・運用及び訓練の実施	個別 計画	下水道事業継続マネジメント部会を開催し、災害時対応等について検討します。大規模災害が発生した場合でも、下水道が果たすべき機能を速やかに、かつ高レベルで確保するため、訓練を実施します。	実施回数	3回/年	○	訓練を以下の2回実施しました。 ・6月25日に土のう作りの訓練を実施しました。 ・7月26日の総合水防訓練にあわせ、下水道対策部独自の取り組みを検討し訓練を実施しました。	下水道BCP(下水道事業継続計画)に基づく訓練を2回実施します。	○7月26日の総合水防訓練にあわせ、下水道対策部独自の取り組みを検討し訓練を実施しました。 ○下水道部対策班ごとの訓練を行いました。 ・第1回訓練(6月25日)土のう作り ・第2回訓練(11月18日)職員参集・安否確認システム操作 ・第3回訓練(1月14日)無線の使い方	4回/年	B	B:当初の目標を上回る成果が上ったためです。	今後も訓練を実施し、大規模災害が発生しても下水道が果たすべき機能を、速やかかつ高いレベルで確保できるようにします。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	経営意識及び知識の向上	個別 計画	<ul style="list-style-type: none"> 下水道部職員に公営企業会計及び経営の理解を深める研修を実施します。 専門性を高めるため、研修・課内勉強会等を実施します。 	実施回数	3回以上/年	○	開催予定の課内勉強会に向けた準備を進めました。	研修・課内勉強会等を3回実施します。	<p>パソコンやタブレットなどを活用し、ネットワークを介して学習できる「e-ラーニング」等を活用し、課内研修を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道使用料業務に関する研修(1月) 公営企業会計に関する研修(2月) 特定都市河川に関する研修(3月) 	3回/年	C	C:目標水準を達成したためです。	今後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した非対面式の方法を検討しながら、様々な研修を継続的に実施し、円滑な業務遂行と、より一層の経営意識・専門性の向上を図っていきます。
5	新型コロナウイルス感染症を踏まえた下水道事業継続計画の策定	個別 計画	下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】を策定します。	策定	策定	○	下水道BCM(下水道事業継続マネジメント)部会を5回開催し、下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】の計画(案)を策定しました。また、この案について、部内各課から意見を聴取しました。	下水道BCM部会を開催し、部内各課からの意見を参考にして、下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】を策定しました。また、部内説明会を開催するなど職員へ周知しました。	下水道BCM部会を9回開催し、下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】を策定しました。また、部内説明会を開催するなど職員へ周知しました。	策定	C	C:目標水準を達成したためです。	策定した下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】について、今後も職員への周知や必要な見直しを行います。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
6	課独自で設定したノー残業デーの実施	—	時間外勤務時間の削減のため、業務フローの見直し等により、毎月、定時退庁強化日の他に、課独自で設定したノー残業デーを実施します。	実施回数	12回/年	△	<ul style="list-style-type: none"> 課独自のノー残業デーを設定して6回実施しました。 地方公営企業会計移行後初めての決算事務や8月の大雨対応などにより、時間外勤務は約1,800時間(9月末時点)で、2019年度比約10%増となりました。 	引き続き、課独自のノー残業デーを実施するとともに、業務フローや分担の見直しにより、更なる時間外勤務時間の削減に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 課独自のノー残業デー(第2金曜日)を設定して12回実施しました。 会議をWEBや書面で開催したり、研修をeラーニングで行ったりして業務の効率化を図りましたが、地方公営企業会計移行後初めての決算事務や8月の大雨対応があったため、時間外勤務は約3,060時間となり、2019年度比約9%減にとどまりました。 	12回/年	C	C:目標水準を達成したためです。	全庁的な目標である「時間外勤務時間を2019年度比30%減にする」ことは達成できませんでした。今後は、特定の人に業務が集中することがないよう業務の見える化や分散化を図るとともに、時間外勤務時間削減につながるアイデアを課内職員全員から募り、更なる生産性の向上や業務の効率化に向けて取り組んでいきます。

部課名		下水道部下水道整備課																																																		
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> ・浸水被害を軽減するために、雨水管の整備を促進し、安心した生活環境を実現します。 ・大規模地震が発生した場合でも、下水道施設の被害の最小化を図り、衛生的な生活環境が維持できるようにします。 ・計画的に改築更新を行い、道路陥没等の事故を未然に防ぎます。 ・より快適で衛生的な暮らしができるよう、污水管未整備地区の解消に取り組みます。 ・供用開始区域内の公共下水道への接続推進により、お客さまの衛生的な環境を実現します。 ・浄化槽設置者または使用者に、浄化槽の保守点検、清掃及び法定検査を促すことで、適正な水環境を維持します。 																																																		
実行計画(年度目標)																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">順位</th> <th rowspan="2">取組項目</th> <th rowspan="2">計画 類型</th> <th colspan="3">年度目標設定</th> <th colspan="3">中間確認</th> <th colspan="5">年度末確認</th> </tr> <tr> <th>具体的な活動内容</th> <th>指標</th> <th>目標</th> <th>進捗 状況</th> <th>上半期の状況や評価</th> <th>下半期の予定</th> <th>1年間の総括</th> <th>成果</th> <th>評価</th> <th>評価の視点</th> <th>課題と対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>安心して住める住環境の整備</td> <td>重点 事業 プラン</td> <td>浸水被害を軽減するために、雨水幹線や枝線の工事を行います。</td> <td>浸水対策事業における対策箇所数</td> <td>3箇所</td> <td>○</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、予定通り進捗しています。 ○契約:2021年5月28日、工期:2022年3月10日 ②木曽東一丁目雨水枝線工事その3は、入札不調のため再入札となりましたが、9月3日に契約を締結しました。 ○契約:2021年9月3日、工期:2022年1月14日 ③小山町雨水枝線工事は、契約に向けて準備中です。 ○契約:2021年10月上旬予定、工期:2022年3月上旬予定 </td> <td>引き続き工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、想定以上の湧水が発生したことにより、予定よりも多くの時間を要しましたが、雨水幹線は2022年3月末に整備できました。しかし、附帯工事などを考慮し、2022年4月28日まで工期を延伸しました。 (変更工期:2022年4月28日) ②木曽東一丁目雨水枝線工事その3は予定通り完了しました。 (変更工期:2022年2月25日) ③小山町雨水枝線工事は予定通り完了しました。 (契約:2021年10月8日、工期:2022年3月10日) </td> <td>3箇所</td> <td>C</td> <td>C:目標水準を達成したためです。</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、進捗管理を徹底し完了を目指します。 2022年度以降も計画している事業を滞りなく進めていきます。 </td> </tr> </tbody> </table>														順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認					具体的な活動内容	指標	目標	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応	1	安心して住める住環境の整備	重点 事業 プラン	浸水被害を軽減するために、雨水幹線や枝線の工事を行います。	浸水対策事業における対策箇所数	3箇所	○	<ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、予定通り進捗しています。 ○契約:2021年5月28日、工期:2022年3月10日 ②木曽東一丁目雨水枝線工事その3は、入札不調のため再入札となりましたが、9月3日に契約を締結しました。 ○契約:2021年9月3日、工期:2022年1月14日 ③小山町雨水枝線工事は、契約に向けて準備中です。 ○契約:2021年10月上旬予定、工期:2022年3月上旬予定 	引き続き工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、想定以上の湧水が発生したことにより、予定よりも多くの時間を要しましたが、雨水幹線は2022年3月末に整備できました。しかし、附帯工事などを考慮し、2022年4月28日まで工期を延伸しました。 (変更工期:2022年4月28日) ②木曽東一丁目雨水枝線工事その3は予定通り完了しました。 (変更工期:2022年2月25日) ③小山町雨水枝線工事は予定通り完了しました。 (契約:2021年10月8日、工期:2022年3月10日) 	3箇所	C	C:目標水準を達成したためです。	<ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、進捗管理を徹底し完了を目指します。 2022年度以降も計画している事業を滞りなく進めていきます。
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認																																											
			具体的な活動内容	指標	目標	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応																																							
1	安心して住める住環境の整備	重点 事業 プラン	浸水被害を軽減するために、雨水幹線や枝線の工事を行います。	浸水対策事業における対策箇所数	3箇所	○	<ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、予定通り進捗しています。 ○契約:2021年5月28日、工期:2022年3月10日 ②木曽東一丁目雨水枝線工事その3は、入札不調のため再入札となりましたが、9月3日に契約を締結しました。 ○契約:2021年9月3日、工期:2022年1月14日 ③小山町雨水枝線工事は、契約に向けて準備中です。 ○契約:2021年10月上旬予定、工期:2022年3月上旬予定 	引き続き工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、想定以上の湧水が発生したことにより、予定よりも多くの時間を要しましたが、雨水幹線は2022年3月末に整備できました。しかし、附帯工事などを考慮し、2022年4月28日まで工期を延伸しました。 (変更工期:2022年4月28日) ②木曽東一丁目雨水枝線工事その3は予定通り完了しました。 (変更工期:2022年2月25日) ③小山町雨水枝線工事は予定通り完了しました。 (契約:2021年10月8日、工期:2022年3月10日) 	3箇所	C	C:目標水準を達成したためです。	<ul style="list-style-type: none"> ①本町田東1号雨水幹線その3工事は、進捗管理を徹底し完了を目指します。 2022年度以降も計画している事業を滞りなく進めていきます。 																																							

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
2	総合地震対策整備事業(重要な污水幹線等※1の耐震化) ※1重要な污水幹線等 (1)1996年以前に布設された污水幹線管路 (2)避難施設から排水を受ける枝線 (3)災害拠点連携病院からの排水を受ける枝線 (4)要救護者施設から排水を受ける施設 (5)河川、軌道下を横断する管路 (6)緊急輸送路等※2に布設されている枝線 ※2緊急輸送路等一般国道及びこれらを連絡する幹線道路と防災拠点を相互に連絡する道路	重点事業プラン	重要な污水幹線等において、耐震化対策が必要なマンホールの工事を行います。	耐震化工事実施	完了 (耐震化率100%)	○	マンホール耐震化工事(29箇所)は、予定通り進捗しています。 ○契約:2021年5月26日、工期:2021年10月14日	引き続き工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。	重要な污水幹線等のマンホール耐震化工事(29箇所)は、予定通り完了しました。	完了 (耐震化率100%)	B	B:重要な污水幹線等の耐震化を早期に完了し、雨水管の耐震化事業に着手したためです。	2021年度から着手した雨水管の耐震化事業を、2022年度以降も滞りなく進めていきます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	総合地震対策整備事業(マンホールトイレの設置)	重点 事業 プラン	マンホールトイレ整備事業計画に基づき避難施設にマンホールトイレの設置を行います。	設置施設数	6施設 49施設 (累計)	○	①金井小学校、町田第三中学校のマンホールトイレ設置工事は、予定通り完了しました。 ○契約:2021年5月25日、工期:2021年9月17日 ②鶴川第三小学校、鶴川第二中学校のマンホールトイレ設置工事は、予定通り進捗しています。 ○契約:2021年6月11日、工期:2021年11月9日 ③山崎小学校、小山田南小学校のマンホールトイレ設置工事は、予定通り進捗しています。 ○契約:2021年6月21日、工期:2021年10月25日	引き続き工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。	①金井小学校、町田第三中学校のマンホールトイレ設置工事は、上半期に完了しました。 ②鶴川第三小学校、鶴川第二中学校のマンホールトイレ設置工事は、予定通り完了しました。 ③山崎小学校、小山田南小学校のマンホールトイレ設置工事は、予定通り完了しました。 (変更工期:2021年11月17日)	6施設 49施設 (累計)	C	C:目標水準を達成したためです。	2022年度以降も計画している事業を滞りなく進めていきます。
4	計画的な改築更新の推進	重点 事業 プラン	下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行うため、改築更新工事に必要な下水道施設の詳細調査を行い、修繕・改築計画を策定します。	第1期修繕・改築計画策定	完了	○	管路詳細調査は予定通り進捗しています。 ○契約:2021年4月22日、工期:2022年2月1日	引き続き工程管理を徹底し、工期内の詳細調査及び計画策定の完了を目指します。	管路詳細調査は予定通り完了し、修繕・改築計画を策定しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き事業を滞りなく進めるよう努めます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
5	汚水管と合併処理浄化槽を併用した汚水処理の推進	個別 計画	市街化区域においては汚水管未整備地区の整備、市街化調整区域においては汚水管接続と合併処理浄化槽への切り替え促進の併用により、水洗化率の向上を目指します。	水洗化率 (町田市全人口のうち公共下水道への接続や合併処理浄化槽での汚水処理をしている人口の割合)	99.2 9% (累計)	○	<p>①汚水管の整備</p> <p>①-1能ヶ谷一丁目汚水枝線工事は、予定通り完了しました。○契約:2020年10月5日、工期:2021年7月30日</p> <p>①-2上小山田町ほか汚水枝線工事は、予定通り完了しました。○契約:2020年8月19日、工期:2021年4月30日</p> <p>①-3能ヶ谷一丁目汚水枝線工事その2:予定通り進捗○契約:2021年6月2日、工期:2022年1月21日</p> <p>①-4下小山田町汚水枝線工事:完了○契約:2021年6月21日、工期:2021年9月30日</p> <p>①-5南大谷汚水枝線工事:予定通り進捗○契約:2020年7月12日、工期:2022年2月10日</p> <p>①-6真光寺町汚水枝線工事その3:予定通り進捗○契約:2021年8月24日、工期:2022年1月14日</p> <p>①-7能ヶ谷一丁目ほか汚水枝線工事:予定通り進捗○契約:2021年8月30日、工期:2021年12月23日</p> <p>①-8本町田ほか汚水枝線工事:予定通り進捗○契約:2021年9月2日、工期:2022年1月31日</p> <p>②汚水管への接続啓発 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、未接続家屋に対し、郵送等での接続の啓発を行いました。(152世帯)</p> <p>③合併処理浄化槽への切り替え啓発について、169世帯に「合併処理浄化槽設置事業補助金のご案内」を6月7日に送付</p>	<p>①-3、5~8 引き続き工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。</p> <p>②~③引き続き啓発活動を行い、水洗化率の向上を目指します。</p>	<p>①汚水管の整備</p> <p>①-1能ヶ谷一丁目汚水枝線工事は、上半期に完了しました。</p> <p>①-2上小山田町ほか汚水枝線工事は、上半期に完了しました。</p> <p>①-3能ヶ谷一丁目汚水枝線工事その2は、予定通り完了しました。(変更工期:2022年2月22日)</p> <p>①-4下小山田町汚水枝線工事は、上半期に完了しました。</p> <p>①-5南大谷汚水枝線工事は、予定通り完了しました。(変更工期:2022年3月11日)</p> <p>①-6真光寺町汚水枝線工事その3は、予定通り完了しました。(変更工期:2022年2月4日)</p> <p>①-7能ヶ谷一丁目ほか汚水枝線工事は、予定通り完了しました。(変更工期:2022年2月18日)</p> <p>①-8本町田ほか汚水枝線工事は、予定通り完了しました。(変更工期:2022年3月18日)</p> <p>②汚水管への接続啓発 未接続家屋に対し、郵送で公共下水道への接続の啓発文書を送付しました。(年間323世帯)また、普及活動により、71世帯が下水道切替工事を行いました。</p> <p>③合併処理浄化槽への切り替え啓発 年間257世帯に合併処理浄化槽への切り替え啓発を行い、15件の切り替え工事が行われました。</p>	99.34% (累計)	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	<p>①2022年度以降も計画している事業を滞りなく進めていきます。</p> <p>②、③汚水処理の推進に向けて、今後も継続的な公共下水道への接続の啓発及び合併処理浄化槽への切り替えの促進をします。</p>

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
6	電子申請の利用促進	個別 計画	浄化槽利用世帯に対し、電子申請に関する案内文書の配布を通じて、電子申請の利用促進を図り、業務の時間短縮を図ります。	電子申請の利用促進	電子申請の利用促進	○	案内文書に電子申請サイトのQRコードやURLの記載等を行い、浄化槽管理者変更報告書の電子申請率は2020年度3%のところ、2021年度上半期末時点で50%に達しました。	引き続き案内文書の配布等を通じて、電子申請の利用促進を図ります。	案内文書に電子申請サイトのQRコードやURLの記載等を行った結果、浄化槽管理者変更報告書の電子申請率は年度当初の3%から40%となり、2020年度より大きく上昇し、電子申請の利用促進が図られました。	電子申請の利用促進	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	今後も電子申請の利用促進を図っていきます。
7	課の業務に関する知識や情報を課内で共有	個別 計画	課内業務全体を把握できるよう、各係の業務内容の中から、テーマを決めて勉強会を行います。	課内勉強会の開催回数	3回/年	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月に1回、書面開催にて情報セキュリティ研修の勉強会を行いました。 内容としては、「2021年度新規採用職員情報セキュリティ研修抜粋版」を読み【セキュリティ勉強会の確認問題】を行うことにより、知識を深めました。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインで「浄化槽について」と「下水道整備の計画・設計」の勉強会を実施し、知識の向上を目指します。	3回の課内研修を行い、知識の向上を図りました。 ・情報セキュリティの勉強会を書面開催(2021年8月13日実施) ・「浄化槽について」の勉強会をeラーニングで実施し、庁内ネットワークにて開催しました。正答率や感想、質問等を意見交換することにより、知識が深まり、情報を課内で共有することができました。(2022年1月28日実施) ・「下水道整備の計画・設計」の勉強会を庁内ネットワークにて開催しました。質問等意見交換することによって、フォローアップすることが出来ました。(2022年3月18日実施)	3回/年	C	C:目標水準を達成したためです。	今後も積極的に研修を開催し、知識や情報を共有することで、職員のスキルアップを図っていきます。
8	新型コロナウイルス感染症を踏まえた下水道事業継続計画の策定に向けた内容検討	個別 計画	下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型ウイルス編】を策定するために、計画素案の確認や内容検討を行います。	内容検討	完了	○	快適な市民生活を支える重要なインフラ施設として確実に業務を継続していくため、下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型ウイルス編】の必要人員や記載内容の見直し作業を行い、計画素案の確認・内容検討を行いました。	計画(案)の確認・内容検討を行います。	計画(案)の確認・内容について、BCM部会を通して検討を重ね、下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型ウイルス編】を策定しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	策定した下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型ウイルス編】について、今後も職員への周知や必要な見直しを行います。

部課名		下水道部下水道管理課												
課の使命		<p>「水」が滞りなく流れるよう予防保全型の維持管理を進め、安定的な機能確保を図り、啓発活動を通じて市民の皆様とともに「良好な水環境」を次世代につなげます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設(管きょ等)、水路等の維持管理を適切に行います。 ・下水道施設(管きょ等)の修繕を行うことで、下水道施設の老朽化に対応します。 ・調整池の貯留機能を維持し、浸水被害を軽減します。 ・浸水被害を防ぐため、豪雨前のパトロールを行い、被害を軽減します。 ・下水道施設(管きょ等)、宅内排水設備の適切な設置を指導します。 ・職員が仕事内容を共有し、仕事の理解力を向上します。 ・適正に下水道台帳を閲覧できるようにします。 												
実行計画(年度目標)														
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認					
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応	
1	<p>ストックマネジメント(※)を導入した下水道事業の推進</p> <p>(※ストックマネジメント:良好な下水道サービスを継続的に提供するための事業運営)</p>	行政経営改革プラン	<p>下水道施設の予防保全型維持管理を計画的に行い、今後増大する維持管理コストの平準化を図るため、基本計画に基づき、ストックマネジメントを導入した事業を継続します。</p>	点検・調査延長	54km	○	<p>下水道管路施設劣化状況簡易調査業務委託の契約を締結しました。現地でのTVカメラ調査や目視調査などの簡易的な調査は54km行い、9月末に完了しました。</p> <p>○契約:2021年6月7日、工期:2022年2月14日</p>	<p>引続き進捗管理を徹底し、調査結果の評価・分析を行い、工期内の業務完了を目指します。</p>	<p>予定通り、TVカメラ調査、目視等の調査、評価及び分析を行い、54kmの管路施設について、劣化状況を把握することができました。</p>	54km	C	C:目標水準を達成したためです。	<p>引続き、2022年度以降も管路施設の劣化状況を把握するための業務を実施します。</p>	
2	<p>下水道管の腐食の恐れがある箇所点検の実施</p>	個別計画	<p>①硫化水素等による下水道管きょの腐食の恐れがある箇所について1年に1回定期的な点検を行います。</p> <p>②腐食の恐れがある対象箇所数の再確認と適切な点検を実施するよう1年間に行う点検箇所数を見直します。</p>	<p>①点検箇所数</p> <p>②点検箇所数の再検討</p>	<p>①16箇所/年</p> <p>②完了</p>	○	<p>公共下水道維持管理・管渠清掃業務委託の契約を締結しました。</p> <p>①点検業務の準備を7月までに完了しました。</p> <p>○契約:2021年4月1日、工期:2022年3月31日</p> <p>②職員による点検対象箇所数の再検討を行い、点検箇所数の見直しが完了しました。</p>	<p>①引き続き進捗管理を徹底し、現場での点検を1月中に実施します。また、点検結果のまとめを行い、工期内の業務完了を目指します。</p>	<p>①現場での点検及び点検結果のまとめを予定通り完了しました。点検結果としては腐食による管渠の不具合はありませんでした。</p> <p>②点検箇所を精査した結果、点検箇所の変更はなく2022年度以降も点検を行います。</p>	<p>①16箇所/年</p> <p>②完了</p>	C	C:目標水準を達成したためです。	<p>2021年度に見直した点検箇所に基づき、2022年度以降も点検業務を実施します。</p>	

順位	年度目標設定				中間確認		年度末確認						
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	水路の現況調査の実施	個別 計画	水路の基本的な情報が記載され、状況を把握できる管理図書を作成するための現況調査を行います。	調査実施延長	35km	○	水路等現況調査業務委託の契約を締結しました。現況調査を実施するための作業計画を作成し、調査を開始しています。 ○契約:2021年7月28日、 工期:2022年3月4日	引続き進捗管理を徹底し、現況調査を2月までに実施します。また、調査結果のまとめを行い、工期内の業務完了を目指します。	位置、構造、境界などの水路の基本的な情報を把握するための業務が完了しました。	35km	C	C:目標水準を達成したためです。	2022年度は、水路の修繕計画策定に活用するため、2016年度から2021年度に行った水路現況調査の成果のとりまとめを行います。
4	グリーストラップの適正な維持管理方法の周知	個別 計画	油脂の流出による污水管の閉塞を防ぐために飲食店などを訪問し、グリーストラップの点検、清掃などの適正な維持管理方法を周知していき、油脂を起因とした詰まりによる管清掃延長を減らします。	管清掃延長	4.08km	○	6月に油脂点検調査を実施し、油脂が付着しているエリアを把握しました。上半期の管清掃延長は1.21kmで、目標値以内に収まっています。	油脂が付着しているエリア周辺の飲食店に対して12月までに店舗を訪問して、グリーストラップの適正な維持管理方法を周知します。周知後に油脂の堆積状況の観察を含めた点検調査を実施し、周知効果を検証します。	油脂が付着しているエリア周辺66店の飲食店に対して店舗を訪問して、グリーストラップの適正な維持管理方法を周知しました。周知後の点検調査では管清掃が必要な箇所が減ったため改善が見られました。管清掃延長は1.68kmで目標値以内に収まりました。	1.68km	B	B:目標水準を大幅に達成したためです。	引き続き飲食店等に向けたグリーストラップの適正な維持管理方法の周知を実施し、管清掃延長の減少に努めます。
5	(業務効率化)現場調査等に掛る人員の削減	個別 計画	現場調査に出かける際には、同じ方向や同じ地域の場合は、他系の業務に関する現場であっても、代わって調査を行うことで、調査に掛かる人員を削減します。	調査人員削減数	延べ50人/年	○	朝礼での周知や、チャット等を活用し現場調査が重複しないよう調査作業員を調整しました。現場調査等に掛かる調査人員は順調に削減しています。 ○9月末時点33人	引続き業務効率化に向けて、調査に掛かる人員の削減を行います。	朝礼での周知や、チャット等を活用し現場調査が重複しないよう調査作業員を調整しました。業務効率化に向けて、調査に掛かる人員延べ56人の人員を削減することができました。	延べ56人/年	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き朝礼での周知やチャット等で現場調査が重複しないよう調整し、効率的な業務を心掛けます。

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
6	(業務改善) 課内研修の実施	個別 計画	課内の他の系の業務内容について理解を深める研修会を開催します。	課内研修会の 項目数	3項目/年	○	研修に向けた内容 検討、資料作成を 行いました。	管理係、水路係、指導 係の項目についての 研修会を行い、業務 内容について理解を 深めます。	各係の詳細な業務紹介を1項目として、3項目の研修を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインにて開催しました。理解度アンケートを行った結果、職員全員が理解を深めたと回答しました。	3項目/年	C	C:目標水準を達成したためです。	今後も研修を開催し、知識や情報を共有することで、課内の業務内容の相互理解を図っていきます。
7	新型コロナウイルス感染症を踏まえた下水道事業継続計画の策定に向けた内容検討	個別 計画	下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】を策定するために、計画素案の確認や内容検討を行います。	内容検討	完了	○	下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】の必要人員や記載内容の見直し作業を行い、計画素案の確認・内容検討を行いました。	計画(案)の確認・内容検討を行います。	計画(案)の確認・内容について、BCM部会を通して検討を重ね、下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】を策定しました。	完了	C	C:目標水準を達成したためです。	策定した下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型コロナウイルス編】について、今後も職員への周知や必要な見直しを行います。

部課名		下水道部水再生センター											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮した施設管理を行い、市民が快適に生活することのできる環境を整えます。 ・下水の高度処理の導入を進めて、水質向上を目指します。 ・下水処理施設の機能を維持するため、計画的な点検・調査・改築更新を行います。 ・下水処理施設の耐震化を促進し、災害時に的確に汚水を処理します。 ・環境負荷の少ない処理場運営を進め、地球環境の保全と循環型社会へ貢献します。 											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	成瀬クリーンセンターの耐震化	重点 事業 プラン	成瀬クリーンセンター次亜塩素酸タンク棟、沈砂池ポンプ棟耐震補強工事を行います。	耐震化率	64.7%	○	<ul style="list-style-type: none"> ①次亜塩素酸タンク棟の耐震補強工事は、2021年3月に契約を締結し、予定通り進捗しています。 ○契約:2021年3月2日、工期:2021年12月28日 ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事は、契約に向けて準備中です。 ○契約:2021年10月下旬予定、工期:2022年10月下旬予定 	<ul style="list-style-type: none"> ①引き続き工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。 ②契約締結後、工程管理を徹底し、工期内の工事完了を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ①次亜塩素酸タンク棟の耐震補強工事は完了に伴い、耐震化率が64.7%になりました。 ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事は、2021年10月に入札不調となったため、再入札となりましたが、2022年1月末に契約し、工事に着手しました。 ○契約:2022年1月31日、工期:2022年10月31日 	64.7%	C	C:目標水準を達成したためです。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き成瀬クリーンセンターの耐震化を進めていきます。 ②沈砂池ポンプ棟の耐震補強工事については、進捗管理を行い、工期内の工事完了を目指します。
2	下水処理水の水質向上	重点 事業 プラン	下水処理施設の高度処理 [※] 化を推進するため、新しい高度処理技術に関する自主研究を実施します。 ※高度処理:標準的な方法に比べ、窒素やりんをさらに取り除くことのできる処理方式(窒素:20mg/L以下、りん:3mg/L以下)	下水処理場の高度処理化率	30%以上	○	<ul style="list-style-type: none"> ①更なる水質の向上など5つの自主研究項目を設定し、2026年度までのスケジュールを決定しました。 ②自主研究への適用事前調査に用いる小型実験装置[※]の設置準備を進めました。 ※様々な条件下で試験を行い、実規模施設への適用可否を確認するための装置(実規模施設のミニチュア) 	<ul style="list-style-type: none"> ①自主研究項目のうち、コスト削減および更なる性能向上を目指した3項目の研究に着手していきます。 ②実規模施設の自主研究と並行して、小型実験装置による調査を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ①下水処理場の高度処理化率30%以上を達成しました。また、自主研究項目を設定し、スケジュールを決定しました。設定項目のうちコスト削減および更なる性能向上を目指した3項目の研究に着手しました。 ②新型コロナウイルスの影響により、小型実験装置の設置のみになりました。 	30%以上	C	C:目標水準を達成したためです。	<ul style="list-style-type: none"> ①引き続きコスト削減および更なる性能向上を目指した研究を継続し、通年データを取得します。 ②実規模施設の自主研究と並行して、小型実験装置を使用した調査に着手します。
3	ストックマネジメント計画に基づいた下水道事業の推進	行政 経営 改革 プラン	下水処理施設の機能を安定的に確保するとともに、今後増大する維持管理コストの平準化を図るため、ストックマネジメント計画に基づいて詳細調査を実施します。	詳細調査の件数	54件(累計)	○	<ul style="list-style-type: none"> ①年度目標15件のうち、上半期予定していた脱臭装置や蓄電池盤など5件の劣化状況調査を行いました。調査結果として、全て設備機能が確保できていることを確認しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 下半期に予定している10件の詳細調査を計画的に実施し、設備の劣化状況の把握に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細調査の15件を予定通り実施しました。15件のうち、機能が低下している設備を2件、早期に把握することができました。また、軽微な劣化については、調査時に補修を実施しました。 	54件(累計)	C	C:目標水準を達成したためです。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き劣化状況を調査し、計画的な維持管理を進め、コストの平準化を図っていきます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価		下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
							上半期の状況や評価							
4	(業務改善) 安全対策の推進	個別 計画	安全対策に関する専門的知識・ 技能を習得し、また、安全対策に 関する意識を向上させる目的で、 職員に対して、研修会を実施しま す。	実施回数	2回/年	△	新型コロナウイルス感染防止のため、7月に予定していた対面による研修会 を下半期に延期しました。		コロナ禍においても実 施可能な研修会の内 容や方法等を検討し、下半期に2回の研 修会を実施します。	2回の研修会を実施し ました。 ・「作業時における保 護マスクの装着方法と 漏れの確認」について の研修会(2021年11 月5日実施) ・「電気災害の危険と その対応」についての 保安教育(2021年12 月14日実施)	2回/年	C	C:目標水準を 達成したため です。	今後も安全対 策に関する研 修会を実施 し、専門的知 識・技能の習 得、意識の向 上を図ります。
5	新型コロナウイルス感 染症を踏まえた下水 道事業継続計画の策 定に向けた内容検討	個別 計画	下水道BCP(下水道事業継続計 画)【新型ウイルス編】を策定する ために、計画素案の確認や内容 検討を行います。	内容検討	完了	○	快適な市民生活を支える重要なインフラ施設として確実に業務を継続して いくため、下水道BCP(下水道事業継続計画)【新型ウイルス編】の必要人 員や記載内容の見直し作業を行い、計画素案の確認・内容検討を行いました。		計画(案)の確認・内 容検討を行います。	計画(案)の確認・内 容について、BCM部 会を通して検討を重 ね、下水道BCP(下水 道事業継続計画)【新 型ウイルス編】を策定 しました。	完了	C	C:目標水準を 達成したため です。	策定した下水 道BCP(下水 道事業継続計 画)【新型ウイ ルス編】につ いて、今後も 職員への周知 や必要な見直 しを行います。
6	(業務効率化) リモート会議の実施	—	会議による移動時間の削減のため、 課内調整会議をリモートで実 施します。	実施回数	12回/年	○	係長会議や未利用地検討会議など成瀬クリーンセンターと鶴見川クリーン センター間のリモート会議を合計8回実施しました。 リモートで会議を実施する事により、成瀬クリーンセンターと鶴見川クリーン センター間の移動時間を、約18時間削減しました。		引き続きリモート会議 を実施していきます。	係長会議や係会議な ど成瀬クリーンセン ターと鶴見川クリー ンセンター間のリモ ート会議を合計12回 実施しました。 リモート会議を実施 する事による、成瀬ク リーンセンターと鶴見 川クリーンセンター間 の移動時間を、約26 時間削減しました。	12回/年	C	C:目標水準を 達成したため です。	引き続きリモ ート会議を実 施し、移動時 間の削減を図 っていきます。